

平成2年度
静岡市浅間神社公演



平成3年(1991年)1月3日

高年者センター岡崎公演



夏休みの老人福祉センター訪問

五年二組 原 泰久
ぼくは万才クラブへ入って、楽しいことばかりで、よかったなあと思います。

老人福祉センター訪問には二回行きました。一番良かったことは、おじいちゃんたちが喜んでくれたことです。ぼくのおじいちゃんは、幸田にはないけど、他のおじいちゃんたちが喜んでくれてとてもうれしかったです。それに、おひねりがたくさん飛んできました。開けてみるとお金がいっぱいありました。おじいちゃんたちに長生きしてと、みんなで心をこめて作ったつるをあげると、大変喜んでくれました。中には泣いている人もいました。ぼくたちの心が通じて、本当によかったと思います。

平成元年十月七日
中央小だより六十七号より

静岡の新年祝い、三河万歳

初みくし 1991年

三河万歳(万歳)は保存会が中心となり、小学校や公民館などで行われる。三河万歳は、昭和五十八年(一九八三年)に、三河万歳保存会(塩谷篤家会長)が発足した。この保存会は、三河万歳の保存と普及を目的として、毎年正月三日(火曜日)に、岡崎市の浅間神社で、三河万歳の披露を行っている。この披露は、三河万歳保存会のメンバーが、三河万歳の衣装を着て、三河万歳の舞を披露する。この舞は、三河万歳保存会のメンバーが、三河万歳の衣装を着て、三河万歳の舞を披露する。この舞は、三河万歳保存会のメンバーが、三河万歳の衣装を着て、三河万歳の舞を披露する。

愛知の保存会児童
浅間神社で舞を披露

新しい年の帳も
ようやく平常に
校長先生始め子供たち
今年も静岡之具を下さ
りありがとうございます
浅間神社連永寿さんと
よろしくお話しします
このお話を伺って、心から
おほいとお喜びです
いっしょに楽しみます
お楽しみまで、心から
お楽しみまで、心から
お楽しみまで、心から
お楽しみまで、心から

学校に届いたお礼のはがき

平成3年度
幸田町チャリティー公演



1990年(平成2年)8月7日(火曜日)

お年寄りに
三河万歳熱演

幸田の中央小児童

おひねり、ポンポン、
練習の成果

三河万歳は、三河地方で受け継がれており、岡崎市内の三河万歳保存会(塩谷篤家会長)が、保存会をたが、同校で公演するのがきくので、昭和五十八年(一九八三年)に、岡崎市の浅間神社で、三河万歳保存会が、三河万歳の舞を披露する。

西三河版 [18]

梨・実る頃
浅井 小夜子
存陽会(安城市)

社会部	1650-5919
大代表	(20)8811
副代表	(21)8811
編集	444 0564 (22)1661
印刷	0562 (22)7181
支店	0565 (31)3311
豊田支店	0538 (6)2305
豊田支店	0582 (2)0242
新橋支店	0533 (68)2437
安城支店	0565 (76)3355
西尾支店	0543 (56)3136

万歳の歴史
とは古く七百年
とも千七百年
言われて居り
ます。幸田の
それは浅く百
年位でありま
す。

最初は西尾
市の万歳の才
造

幸田の万歳
保存会会長 塩谷 篤家

として協力したのが始まりです。特色は現在でも昔ながらの檀家帳に依り正月参上して居ります。県も事実を認め昭和五十七年県保護条例二十四条に基づき県の無形民俗文化財の認定となりました。保存会も現在では海外にて三ヶ国に亘り上演し国際交流に参画して居ります。

又中央小学校に万歳クラブが創設されOBの方を含め四十数名の方が御殿万歳、御門開き等々の演目を修得され諸施設等の郷問等に出演され幸田町の発展と郷土芸能に貢献されて居られる事は誠に心強い次第です。

平成二年一月一日
Pコミ新聞二十九号より



平成7年 三河万歳 国の重要無形民俗文化財指定

三河万歳は一千余年の伝統をもち続けています。幸田町の三河万歳保存会は、西尾市の現在上町に住んでみえる守山太夫の教えを継いで現在に至っております。十数年前、保存会を存続していくために後継者を作らなければという声が高まり、子供たちのクラブを作ることにしました。はじめは岩堀公民館を練習場所として、わずか十数名で始めました。しかし二年目には、中央小学校のクラブ活動に取り入れたただけで、クラブ員も四、五、六年で三十名余りといへん多くなり、教えるものも四、五名出て指導にあたるようになりました。ところが、なかなか鼓や衣裳を整えるだけの金もなく、鼓や衣裳は手作りです。本場に自分たちで代用品を作るのに苦労しました。その後町当局にもお願いし、三河万歳を保存していくためには後継者を作る必要があることを認めていただき、やっと予算も出してくれました。



発足当時の万歳クラブ

ここに指定を受けること自体、身に余る光栄と思うかたわら、重き荷を背負った感じがいたし、感無量でいっぱいでありました。今後は一層健康に留意し、町の名に恥じないよう、後継者の指導に、面白みのある三河万歳の保存に努力していく覚悟であります。今後とも、皆様方の絶大なご支援をお願いして筆を置く次第でございます。十一月吉日 三河万歳保存会 会長 本田 芳雄

平成8年7月7日 Pコミ新聞47号より

平成8年度 まどかの郷公演



平成10年度 身体障害者センター公演



伝統ある三河万歳

三河万歳保存会長 本田芳雄

ただけになりなりました。三、四年の間は大変苦労しましたが、今は大変よくなりました。もう十三日目にもなります。本年度も万歳クラブ員二十一名が、毎週水曜日、週一回の練習にも大変張り切って練習に励んでいます。子供たちの熱心な練習ぶりを見て、立派に三河万歳を受け継いでいってくれるであろうと大変強く思います。この伝統ある三河万歳をいつまでも守っていききたいものだと思います。

「三河万歳」

国の重要無形民俗文化財に指定された。去る十月二十日、「三河万歳」が国の無形民俗文化財に指定された。保存会会長 本田様より、次の「挨拶文」を寄せていただいた。

菊香る時期となりました。この度、突然の吉報をいただき、夢かと思う心境であります。これもひとえに町民の皆様方の陰ながらのご支援の賜と深く感謝いたす次第であります。

夏の公演

六年 川瀬裕史

はく達万ざいクラブは、今年の夏、二度の公演をしました。心に残っているのは岡崎の高齢者センターへ行ったことです。着いたらすぐ衣裳に着がえ、さん張しながら待ちました。順番が回ってくる、すぐステージにならばび、あいさつをして首かざりをおじいさんやおばあさんにかきました。「ありがとうございます」と、にっこりしてくれました。本番が始まりました。ドキドキしていただけど、大声でやろうと思いましたが、ほとんど文句が進むにつれて、さん張もほぐれてきました。声もよくなりました、おじいさんやおばあさんが喜んでくれて、とてもうれしい一日になりました。

平成六年十月三十一日 中央小だより九十四号より

平成8年度 瀬戸市深川神社公演



万歳クラブをふりかえって

六の三 志賀奈保美

私はこの万歳クラブに入るのは初めてでした。万歳はどんなものか全然知らなかったもので、とても心配でした。だけど保存会のおじいさん達がつつみの打ち方、台詞のしやべり方などいいに教えてくださいました。万歳をやっている時のおじいさん達はいつもにこにこして、とても楽しそうでした。本場に万歳が好きなんだと思います。今年野外での公演もありました。大勢のお客さんの前でとても緊張しました。それでも最後までやれるようになったのはおじいさん達のおかげです。本当にありがとうございます。

平成七年三月七日 中央小だより九十六号より

蒲郡市農林水産まつり公演



平成17年度 愛・地球博公演



幸田町の三河万歳

三河万歳は、今から730年ほど前、西尾で始まったといわれています。実相寺の2代住職応通禪師が中国より習い覚えてこられ、それを人々に教えられました。幸田の万歳は明治の初め、関東地方を中心に神道教導職として西尾の太夫さんの才蔵役を勤め、国の安泰五穀豊穡無病息災を祈願して回ったことに始まりました。昭和52年に幸田町三河万歳保存会を結成し、保存と振興に努めてきました。幸田の万歳の演目には「御門開きの舞」「御殿万歳」「教え歌」「三曲万歳」等があります。平成7年12月には西尾市・安城市とともに、国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。

平成18年度 幸田しだれ桜まつり公演



平成21年度 幸田産業まつり公演



幸田町立中央小学校に三河万歳クラブができたのは学校ができて3年後の1988年で、今年で23年目と聞いています。万歳を教えてくださるのは学区に住んでいる三河万歳保存会の方々です。私は、小学校4年生から三河万歳クラブに入っています。入った理由は、学芸会の際に先輩たちが披露している舞を見て、難しそうだけどかっこいいと思ったからです。私もあんなふうに踊れるようになりたいと思っていました。



三河万歳の伝統を守る

池田舞さん

愛知県幸田町立中央小(6年)



三河万歳を披露する児童たち

た以上に難しいことでした。クラブの時間はもちろん、家に帰ってから何度も練習をして、ようやく踊れるようになりました。先日は、保存会の方たちは、言葉の言い方や踊り方をとても丁寧に教えてくれました。『七福神の舞』ができるようになってからは、私も三河万歳の伝統を中央小の後輩たちが守っていくことを願っています。

毎日新聞 2005年(平成17年)6月26日

平成19年度学芸会



平成24年度 幸田しだれ桜まつり公演



けいこをしてくださる三河万歳保存会のみなさん

井野谷 谷田 野俣 水井 木瀬 田田 本
 浅上 塩塩 岡小 木清 嶋鈴 成 本 松 山
 又 好 薦 貞 節 理 典 宏 幹 忠 恒 芳 保 仙
 一 誼 家 雄 男 吉 子 一 夫 夫 雄 雄 市 吉 不
 さ さん さん さん さん さん さん さん さん
 さん さん さん さん さん さん さん さん
 (順 不 動)



昭和58年度

平成4年度

師匠のみなさん、
 いつもていねいに
 教えていただき、
 ありがとうございます。

昭和52年度 幸田町三河万歳保存会結成
 昭和59年度 中央小三河万歳クラブ創設
 平成7年度 国の重要無形民俗文化財指定
 平成25年度 愛知県教育文化奨励賞受賞



平成7年度

平成八年度



平成十二年度



平成十五年度



平成十六年度



平成二十三年度



三河万歳クラブ卒業生

(6年時在籍)



昭和61年度 浅井 雅浩 小田 義明 古藤 智行 竹境 慎和 松田 和也	昭和62年度 唐沢 千里 筒井由起子 牧野 智子	昭和63年度 浅井 文吾 餅田 和浩	平成元年度 蟹江 龍一 松田正亜 竹本友美 竹内美	平成2年度 池田 圭介 蟹江敏行 後藤守範 伴吉勲 藤本勲	平成3年度 浅井 俊貴 加藤幹紀 伴尚之 星野宗晴 杉浦ひふみ 鈴木亜矢子	平成4年度 石川 雄三 蟹江彰 河合祐 志賀崇 田賀理 熊部育秀
平成5年度 壁谷 章彦 青山 陽 大久保 徹 志賀 雄介	平成6年度 川瀬 裕史 本田和也 松下 豊 山下 雅 吉本 茂 志賀奈保美	平成7年度 兼松 学 杉浦亨 榎木 龍也 尾崎明美 千田理恵 増岡通子	平成8年度 鈴木 慎吾 岩館えりか 小田さやか 澤谷利奈 鈴木沙和子 鈴木まな美	平成9年度 市川 裕也 澤 圭太 中根 翔	平成10年度 寺島 圭亮 吉田康人 梅田阿沙美	平成11年度 市川 彩 高橋 愛弥
平成12年度 小澤 昌太 小田 一 小野 成 川边 寛 吉小見 輝 小野 子 神谷 希 清水 沙 久間 佳 森田 茜 恵	平成13年度 磯貝明日香 大石真由 高橋悠 早川真 安田 梨	平成14年度 赤松 佑一 加地真由美 鈴木恵理華 三輪佳菜美	平成15年度 小澤 未央 川边 真未	平成17年度 池田 舞 小野未鈴 河原祐紀 黒川姫名 阪口遙香	平成18年度 赤川 珠美 小山天己 竹下和澄美	平成19年度 池田 華 池田 瞳 石川 世奈 小笠原琴音 竹内はるな 都築あす 照井あす 牧原加奈
平成20年度 松尾 未来	平成22年度 池田 芽生 藤森咲帆 渡邊 香奈	平成23年度 鬼原 瑠風 酒井花梨 谷川優華 永井美与子 山本碧 山本こみ	平成24年度 稲葉 弘 浅井来夢 壁谷美緒 藤井七夢 山本楓華	平成25年度 橋本 優 藤森奏帆 大谷 葵		



平成9年度



平成14年度



昭和63年度

平成十八年度



平成19年度



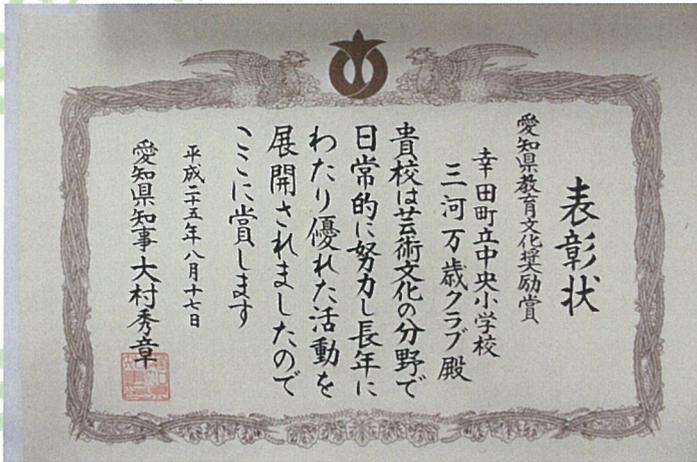
平成20年度



平成22年度

平成25年度

三河万歳クラブ設立30周年



長年の活動が認められ、愛知県教育文化奨励賞を受賞



万歳を盛り上げるのぼりを新調



玄関にかかげた30周年の横断幕



着物のマークを新調



平成25年度 師匠とクラブ員、担当



幸田町産業まつり